

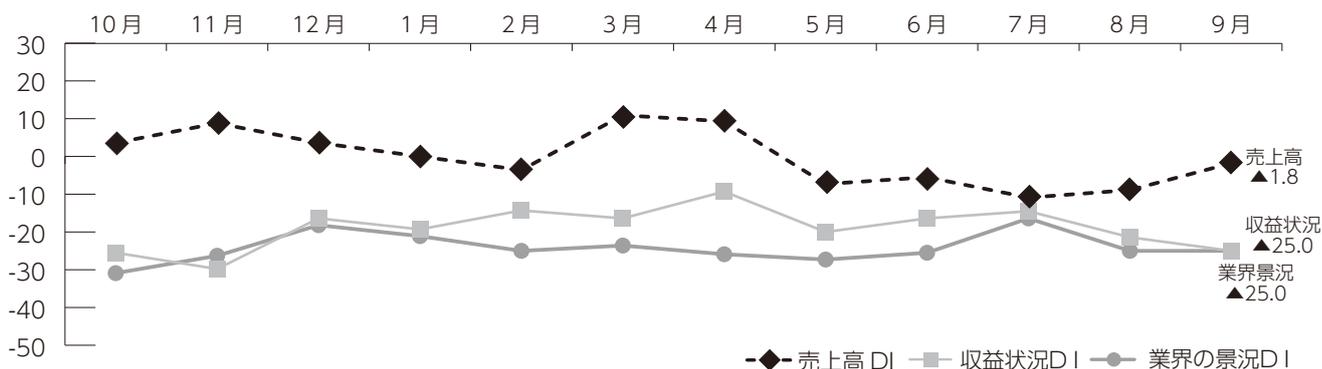
諸物価高騰に加え、長い残暑が経営に悪影響

概況

厳しい残暑が続く中で、商店街からは客足が遠のき、生花小売では商品の供給が減少し、建設業では生産性の低下等悪影響がみられた。また、一部で売上が回復するも、人件費、運送費、光熱水費、原材料費の高騰により、厳しい経営環境が続いている。

また、一部で10月からの最低賃金上昇への懸念の声も聞かれた。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☀	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☀	☁
	サービス業	☀	—	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	建設業	☁	—	☀	☁	☁	☁	—	☁
	運輸業	☁	—	☀	☁	☁	☁	—	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
 DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 価格転嫁がうまくいっている企業は収益状況が好転しているように感じる。しかし、水道光熱費、人件費の上昇が今後収益を圧迫する可能性を危惧している。</p> <p>[菓子] お彼岸の注文、店舗への来店が双方とも多く、かなり忙しかった。ただ、人手不足は深刻であり、卸売対応は行わず店舗対応のみにしようか検討する様子が窺える。</p> <p>[製麺] 大手企業の即席食品（セット麺や調理麺）の増加が著しい一方、その影響から販売数量の減少が引き続き見られ、状況は大きく変わっていない。</p>
織 維 製 品	<p>[織物（桐生市）] 織物の注文があっても、糸の生産停止や特殊な整経による対応の困難さからキャンセルするケースが増加している。</p> <p>[外衣・シャツ] 10月からの最低賃金上昇の影響を危惧。資材等の高騰も含め、収益悪化が予想されるため、加工賃や製品単価の値上げ交渉の実施を重要視している。</p> <p>[インテリア関連] 住宅着工件数が減少傾向にあり、売上は昨年比で3か月連続1割減少。今後の需要期に向け不安を感じている。</p>
窯業・土石	<p>[生コン] 出荷量は、吾妻、中央、藤岡地区で増加したが、出荷量の多くを占める東毛地区をはじめ、その他の地区が減少したため、全体的に減少した。</p> <p>[碎石] 売上高は、吾妻地域で上昇、沼田を除く他の地域では減少しており、全体的には減少傾向にある。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 半導体装置、機械関連の受注は増加傾向。薬品、人件費、運送費の値上げの影響が大きい。</p> <p>[機械金属（高崎市）] 自動車関連は低迷が続く一方、半導体関連分野で成長が見られる。コロナ禍で早期にリスク分散を行い、新たな分野へ進出した企業の成長がみられる。</p>
そ の 他	<p>[家具] 売上は前年同月比で好転したが、市場の厳しさから受注の回復には時間がかかると見込んでいる。</p> <p>[紙製品] 原材料メーカーの値上げ動向が再び顕在化する中、秋以降の物価高騰と消費者の買い控えを懸念。また、長引く人手不足、電気料金の値上げ、配送運賃の高騰が深刻。</p> <p>[ゴム] 10月からの最低賃金の負担増に向け、一部組合員は対応に苦慮している様子。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[紙卸売] 特殊紙、合成紙関連のメーカーからの値上げが実施されたため、顧客に対して価格転嫁を随時実施している。</p> <p>[自動車関連] 今後のEV推進による業績への影響を懸念している。また、取引条件の改善について、行政庁の取り組みに期待を寄せている。</p> <p>[再生資源] 鉄屑について、国内外での需要の低下等から市況は弱気ムードが続いている。</p>
小 売 業	<p>[家電] 給湯器の補助金事業が実施されており、事業に取り組む組合員が増加傾向にある。</p> <p>[石油] ガソリン販売量は、2度の3連休もあり前年同月を上回った。原油価格や為替は変動しているが、燃料油価格激変緩和事業により小売価格は安定して推移している。</p> <p>[生花] 敬老の日や秋の彼岸需要があったものの、暑さが続き供給が減少したため、花が高騰し利益が圧迫される結果となった。</p>
商 店 街	<p>[高崎市] 暑さが和らぐ気配はなく、若干人通りが少ないように感じるが、夜は若い人を中心に賑わった。10月も各種イベントを実施することで街中が賑わうことを期待している。</p> <p>[藤岡市] 円安、人件費アップ等の影響から仕入コストの上昇が続いている。9月に入っても残暑の影響から来街者数は減少している。</p>
サ ー ビ ス 業	<p>[建設設計] 新築設計が減少する一方、リフォームや耐震化の設計業務が堅調に推移。課題として、人材不足、資材価格高騰、経営環境の不透明さを抱えている。</p> <p>[温泉旅館] 9月は3連休とインバウンド増加で稼働率は良好。宿泊単価は上がったが、原材料費や固定費の高騰で利益は伸び悩んでいる。</p> <p>[不動産] 一部金融機関の住宅ローン金利が引き上げられたこともあり、不動産市場に若干の動きが見られる。</p>
建 設 業	<p>[建設] 酷暑で生産性が低下するとともに労働時間の確保が困難。また、担い手不足や高齢化、賃上げ、労働時間規制の影響で、労務単価や適正工期の改善を望んでいる。</p> <p>[電気工事] 受注量は増加し繁忙感があるものの、材料費の高騰により経営は厳しい状態が続いている。</p> <p>[鉄骨工事] 安値受注による値崩れを懸念しており、適正価格での受注が重要と考えている。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 9月は仮決算期で全体的に忙しかったが、2024年問題による運転手不足が深刻であり、特に長距離輸送の対応が難しく、今後の繁忙期における対応を懸念。また、大手企業の荷主より、中小企業との運賃交渉の方が厳しいとの声も聞こえる。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。